



指標 1							
指標名 (単位)	施設利用率 (%)						
指標式と指標の説明	施設利用回数 / 施設利用可能回数 × 100						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (単位)	70.8	70.9	66.1	66.1	66.1	66.1	66.1
実績値 (単位)	65.8	65.3	65.8				
達成度 (%)	92.9%	92.1%	99.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種講座を計画的に開催し、利用者の来館を促しただけではなく、要望の多かった館内のWi-Fi環境整備を利益還元として自己資金で行うなど、指定管理者のスローガンである「また訪れたくなる施設づくり」を体現する取組は高く評価できる。</li> <li>Wi-Fi環境整備は評価でき、他の事業実施項目についても勤労者に必要なものを集め、よくやっていると思う。十分、S評価に値する。ただ、withコロナの時代に、オンラインで行う事業を考えていくべきだろう。</li> <li>これだけ多彩な事業を提供していることは、評価できる。</li> </ul>

#### 市が指定する事業 (◎:良い ○:普通 △:不十分)

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
	通年	以下のとおり	○
	4月～2月 3月は休館により中止	【土曜コンサート】 毎月1回土曜日の午後に開催しているコンサート。出演者は、広報さがみはらやホームページなどで広く公募し、ジャンル、演奏レベル等を考慮して選考をした。観客総数1,857人	△
	11月24日(日)	【ジャズコンサート】 土曜コンサートの中でも特に人気のあるジャズコンサートを年1回実施。観客数214人	△
	9月11日(水) 2月8日(土)	【さん・え～る落語(落語公演会)】 年2回、ホールを利用した事業の一環として「さん・え～る落語」と銘打って公演会を実施した。出演は両日とも「さがみはら若手落語家選手権」の過去の優勝経験者に依頼した。観客総数216人	△
	7月31日(水) 8月29日(木)	【親子映画観賞会】 夏休み期間中に2回、幼児、小学生低学年を対象とする映画鑑賞会を実施。観客総数244人(「春休み親子映画観賞会」は新型コロナウイルス感染症拡大による施設休止のため実施せず)	△
	10月23日(水) 10月24日(木)	【名画観賞会】 国の優秀映画鑑賞推進事業の一環として、貴重なフィルム映画である「青い山脈/続 青い山脈」「また逢う日まで」「純愛物語」「真昼の暗黒」の4作品を上映。観客総数189人	△
	4月24日(水)	【春のトレーニング教室～下半身強化～】 有資格の講師を迎えて、テーマに沿ったストレッチの方法と自重によるトレーニング方法を学ぶ教室を開催した。希望者には教室終了後、トレーニング機器の安全かつ効果的な扱い方を指導した。参加者10人	△
	5月12日(日)	【ハーバリウム作り&フェイスマッサージ教室】 母の日に合わせ贈り物として喜ばれるハーバリウム作りとエステティシャンからリフトアップマッサージ法を学ぶ教室を開催した。参加者27人	△
	5月13日～ 6月10日 月曜日	【英会話教室】 東京オリンピックに向け、基本的な日常会話を学ぶ大人対象の教室を開催した。全5回 参加者12人(延べ51人)	△

勤労者の福祉の向上を図るための  
事業の実施に関する業務

5月22日～ 7月24日 水曜日	【フラダンス教室】 ハワイ語を学びながら、フラの基本ステップ、ハンドモーションを学び、1曲分のフラダンスをマスターする教室を開催した。全10回 参加者26人(延べ202人)	
6月1日(土)	【相続・贈与税対策セミナー】相続税・贈与税のしくみ、改正点のポイント、基礎控除等非課税の仕組みなど賢い対策セミナーを実施した。参加者27人	
7月20日(土)	【布ぞうり教室】 綿の布を手で編み、室内履きのぞうりを1足作る教室を開催した。参加者18人	
7月31日(水)	【夏のトレーニング教室～上半身強化～】 有資格の講師を迎えて、テーマに沿ったストレッチの方法と自重によるトレーニング方法を学ぶ教室を開催した。希望者には教室終了後、トレーニング機器の安全かつ効果的な扱い方を指導した。参加者18人	
8月4日(日)	【親子はにわ作り教室】 旧石器ハテナ館の講師を招き、夏休みのイベントとして親子で参加できる教室を開催した。参加者36人	
8月28日～ 11月13日 水曜日	【日商簿記3級講座】 実務にも役立つ知識を学び、スキルアップとなる日商簿記検定3級試験を目指すための講座を開催した。全12回 参加者30人(延べ334人)	
10月1日～ 12月10日 火曜日	【ファイナンシャルプランナー3級講座】 会社の会計管理から家計簿の整理まで、幅広く役に立つファイナンシャルプランナー3級の講座を開催した。全10回 参加者36人(延べ309人)	
10月16日(水)	【秋のトレーニング教室～肩こり解消～】 有資格の講師を迎えて、テーマに沿ったストレッチの方法と自重によるトレーニング方法を学ぶ教室を開催した。希望者には教室終了後、トレーニング機器の安全かつ効果的な扱い方を指導した。参加者15人	
10月19・26日、 11月2日 土曜日	【初めての茶道教室】 初心者を対象として茶道体験教室を開催した。全3回 参加者8人(延べ24人)	
10月25日(金) 10月31日(木)	【短期労働講座】 かながわ労働センターとの共催。今回はフォローアップ働き方改革をテーマに「就業規則の見直し・総点検」「新たな外国人材の受入制度と雇用の留意点」の講座を開催した。参加者85人	
11月13日(水)	【ヨガ教室】 呼吸・姿勢・瞑想を組み合わせて心身の緊張をほぐし、心の安らぎをテーマに実施した。参加者21人	
11月16日(土)	【働く女性のライフステージと健康セミナー】 女性特有の症状やかかりやすい病気の基礎知識、対処方法等について学び、「仕事と生活の充実(ヘルスリテラシー)を向上させる」をテーマに実施した。参加者10人	
11月30日(土)	【終活セミナー】 人生の最後を自分らしく迎えるために遺言・任意後見制度を中心に学ぶセミナーを実施した。参加者17人	
12月1・8・15日 日曜日	【初めてのドラムレッスン】 課題曲に合わせてドラムを叩けるようになることを目標として実施した。全3回 参加者12人(延べ35人)	
1月18日(土)	【勤労者のための無料相談会】 生活トラブル・税金・相続・債務整理・労働問題・年金・遺産問題など各分野の専門家が無料で相談に応じる相談会を開催した。参加者22人	
1月22日(水)	【冬のトレーニング教室～しなやかなカラダ作り～】 有資格の講師を迎えて、テーマに沿ったストレッチの方法と自重によるトレーニング方法を学ぶ教室を開催した。希望者には教室終了後、トレーニング機器の安全かつ効果的な扱い方を指導した。参加者8人	

	2月5日～3月4日 水曜日	【宅建士試験のための法律入門講座】 実務にも役立つ知識を学び、スキルアップとなる宅建士試験に向けた講座を開催した。全5回(1回中止) 参加者10人(延べ38人)	
	2月23日(日)	【春の卓球大会～シングルス戦～】 参加条件を小学生以上とし、老若男女・年代を越えた卓球大会を実施した。参加者16人	
センターの利用の承認等に関する業務	通年	センター条例及び条例施行規則を遵守し、適正な手続きを行った。	◎
センターの施設等の維持管理に関する業務(目的外使用許可区域も含む)	通年	相模原市内の専門事業者へ委託し、常駐設備員及び日常清掃員による適切な設備点検及び清掃を行った。各設備の定期点検についても、協定で定められた実施基準に則り、適正な点検・管理を行った。なお、修繕については長中期修繕計画を作成し、適宜市へ報告するとともに、日常の小規模修繕については優先順位を考慮した上で迅速に対応した。	◎
利用の促進に係る業務	1月	かねてより利用者から要望が多かった「館内のWi-Fi環境整備」を行った。Wi-Fiを必要としないホールを除く全ての専用部分及びトレーニング室において、安定的な公衆無線LANを設置した。	◎
	8月	観音開きのカラーパンフレットを全面的にリニューアルした。表紙はブルーと黄色を基調とした爽やかなイメージに一新し、内側には各階平面図と写真を分かりやすく表示するなど、利用者目線での更新を行った。	
	10月	市内及び近隣市内の学校法人等に対して、パンフレットの配架依頼の文書を送付し、利用促進を図った。	

自主事業 (◎：良い ○：普通 △：不十分)

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
自動販売機の設置	通年	施設の活性化や利用者の利便性の向上を図るため、また、それと同時にスペースの有効利用及び収入確保の目的をもって、全館合計5台の自動販売機を設置した。	○

## 5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者満足度の目標値に対する達成度が、100%以上110%未満のため、A評価となる。利用者のニーズを把握し、利用促進に繋げるため、意見箱の設置や、参加者アンケートや利用者懇談会の実施などを行っていることは評価できる。</li> <li>前年既に実績値が87%であるから、目標値が80%というのは低いように感じる。他の施設では90%を目標値にしている施設もあり、もっと高い目標を掲げるべきと思う。アンケートはモニタリングの資料としてだけでなく、年齢別、男女別等を考慮して意見等を今後の改善の資料としてより良い施設運営を期待している。</li> </ul>

### 利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者アンケート/3か月に1回(各回40団体前後を対象) サンプル件数:163件
目標値の基準	「大変良い」「良い」の回答割合(職員の対応及び施設の満足度について)

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	80	80	80	80			
実績値 (%)	86	87	84				
達成度 (%)	107.6%	109.1%	104.8%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	1階ピロティに意見箱を設置し、常時意見収集に努めている。収集した意見は利用者アンケート調査の集計に反映させている。
土曜コンサート等ホールを利用した自主事業における来場者アンケートの実施	公演終了後	公演終了後、来場者に感想及び今後の開催希望内容等についてのアンケートを実施し、利用者のニーズに合った催しの開催に役立っている。
企画提案事業参加者アンケート	事業終了後	企画提案事業の参加者に対して、感想及び今後の開催希望内容等についてのアンケートを実施し、利用者のニーズに合った事業の開催に反映させている。
利用者懇談会	1月20日(月)	「相模原市立勤労者総合福祉センター利用者懇談会設置要綱」に基づき、施設利用者の代表10名にご参加いただき、指定管理者との意見交換を行った。聴取した意見は、施設運営に反映させた。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経常収入は増加しているが、経常収支は赤字となっている。公益会計部門でも収益事業でも赤字となっているが、正味財産が大きく、当面の間は運営には問題ないと思われる。</li> <li>・借入金や、投資不動産や株式もないので、問題となりそうな資産も負債も見当たらなかった。</li> <li>・施設の全体収支は赤字であるが、団体の財政状況に問題はないためB評価とする。</li> </ul>

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入 (a)		92,172	89,759	93,855
	指定管理料	58,032	58,028	60,298
	利用料金収入	29,822	29,719	28,191
	企画提案事業収入	551	472	890
	負担金収入	0	0	1,756
	その他収入 (自販機収入等) ※	964	939	0
	雑収入	2	601	1
	管理運営事業基金 (積立金取崩収入)	0	0	2,600
	管理運営事業基金 (利益還元)	2,800	0	120
支出 (b)		90,603	88,604	95,917
	人件費	27,278	27,561	27,663
	施設管理経費	59,945	60,374	67,199
	事業関連経費	731	669	965
	利益還元経費	2,649	0	91
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		1,569	1,154	-2,062
自主事業収入 (d)		0	0	1,049
自主事業支出 (e)		0	0	162
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		0	0	887
全体収支 【(c)+(f)】		1,569	1,154	-1,175
備考	財団保有の管理運営事業基金を取り崩して必要経費支出に充当することにより指定管理料の不足分を補ったほか、利益還元として館内Wi-Fi環境の整備を行った。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

※自販機収入は、令和元年度より自主事業収入として計上しているため、0円となる。

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング	
実施時期	令和2年3月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 指定管理者の自己評価

新たな指定管理期間の初年度にあたる令和元年度は、指定管理者事業のスローガンである「また、訪れたいくなる施設づくり」を目標に掲げ、財団単独での管理運営を開始した。施設の維持管理については、経験豊富な市内事業者へ委託し、専門資格を有する統括責任者を常駐させ、安心・安全な施設維持管理を行った。

利用者サービスの向上については、公募申請時の企画提案内容「利益の還元」の一つである館内Wi-Fi環境の整備に着手しその運用を開始した。また、利用者懇談会を開催し利用者の生の声を積極的に聞くなど、より良い会館づくりに努めた。その他、2020年1月から敷地内禁煙を実施し、利用者の健康維持にも配慮した。

経費の削減については、光熱水費を更に削減すべく、電力の契約内容の見直しを行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3月2日より施設休止となったため、いくつかの事業を中止せざるを得なくなった。今後も、コロナ禍において安全に施設利用ができるよう、しっかりと態勢を整えていきたい。

## 9 所管課意見

前年度に続き利用者の満足度の割合が8割を超えており、利用者の声に寄り添った施設運営が行われている。特に、公募申請時の企画提案内容「利益の還元」については、館内Wi-Fi環境の整備・運用を開始したことで、利用者のサービスの向上及び更なる利用促進につながると考えられ、高く評価できる。

新型コロナウイルス感染症の影響による施設休止に伴い、利用料金の還付作業が大量に発生するなど、突発的な業務に対しても大きなトラブルもなく、迅速な対応が図られた。

開設後21年が経過し、施設が老朽化しているが、日常業務における点検等に努め、引き続き適切な維持管理に努められたい。

## 10 選考委員会意見

・withコロナの時代の勤労者支援の事業を提供していくべきである。例えば、利用率の低い施設を改装して、サテライトオフィスの提供やテレワークの環境提供をする。また、ロビーなどを活用して、「お家で仕事」のために機器（IT機器だけでなく椅子や机、簡易個室の作り方など）展示や相談会などの実施を求める。

・Wi-Fiセキュリティ管理は重要であり、専門業者の監視、メンテナンスなどを受ける必要があるだろう。

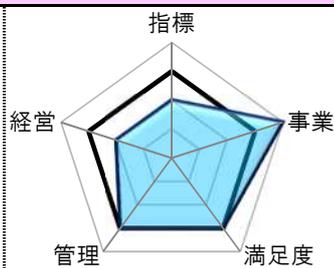
・現存のサービス提供としては十分うまくやっているが、社会環境の急変（例えば、コロナ禍）や長期視点に立った計画が十分でない。

・コロナの影響で施設運営に困難を伴うと思うが、今後も魅力のある施設運営をお願いしたい。

### 総合評価（自動判定）

A

(70/100)



※各項目20点満点